曲げ木講習会　第１回「ベンディングアイロンの製作」

開催日　　2010 年 4 月 10 日（土）午前 9 時から午後6時
会場　　長野県工業技術総合センター　環境・情報技術部門
講師　　浜田　由一（はまだ　よしかず、滋賀県米原市在住、家具職人）
参加者数　12 名

報告者　狐崎ゆうこ

ベンディングアイロンとは、発熱する円柱形のアルミ筒。筒の中に電熱器が入っていて、温度調節もできる。今回の講習会は、これを作って板を曲げてみる、という内容だ。材料費プラス懇切丁寧な浜田さんの指導つきで 16,000 円。オフ・コーポレーションでは既製品を販売しているが、そちらは 23,700 円、筒が垂直向きなため、曲げ木の際、力を入れづらいそうだ。（写真1）

浜田さんは昨年秋の椅子研究会でも、椅子の制作についての講演をしていただいている。

1　ベンディングアイロンの製作

材料は寸法決めした状態で用意されている。手工具は各自で準備、ボール盤やコンプレッサーなど電動工具は用意してもらった。午前中の作業は、アルミ筒に穴あけしてネジのタッピング、木枠組み立てなど。金属加工が不慣れな者は、早くもタッピングの段階で少々動揺する。（写真2）

さらに追い討ちをかけるように午後からは電子工作の時間となる。プリント基板に抵抗やら、ダイオードやらの部品を半田付けして、温度調節をするための装置を作るのである。部品はすべてキットになっており、初心者レベルの回路らしい。しかし、多少の差はあるとはいえ、参加者はほとんど素人、半田ごてを持つ手はおぼつかず、何をどこにつければいいのかもわからず、手取り足取り教えてもらってパーツを取り付けコードをつないで、ようやく完成にたどり着いたのは 17 時ごろであった。（写真3、4、5）

なおこの回路は、ルーターにつなげばスピードコントローラーにもなり、電球の調光器にもなるという優れものでもあるそうだ。ぜひ応用したいところだが、講習会が終わってまだ一週間というのに、私の記憶は早くも薄れかけており、やや不安である。

2　出来上がった道具を使って、曲げ木を試してみる

10 分以上水に漬けておいた試し材を、熱した筒に当てながら少しずつ力を入れて曲げていく。曲がったときには材が乾いているので、戻りがない。材は 4 ミリ厚くらいまで。材種によっては温度調節しないと焦げやすい。慣れればアクリル板を曲げることもできる。一つの筒だけではいろいろなアールを作るのは難しく、他の型を連結するなど多少工夫する必要がある。大量生産したければ、筒を特注して専用の道具にすればよい。使いこなせば非常に可能性の広がる道具であり、あとは参加者の意欲次第だろう。（写真6）

そして 18 時、講習会終了。深夜に家を出てこられた浜田さんは日帰りで帰宅。本当にありがとうございました。我々も日頃縁のない部分の頭と身体を使って充実した気分。皆さんお疲れ様でした。

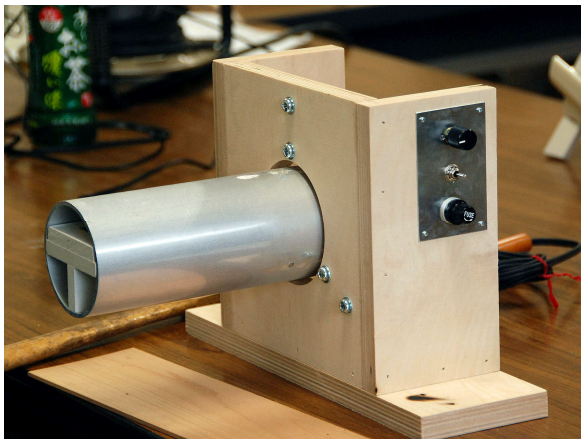

写真1

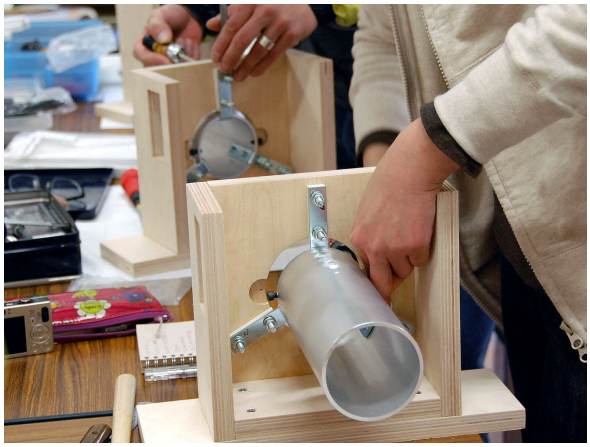

写真2

写真3

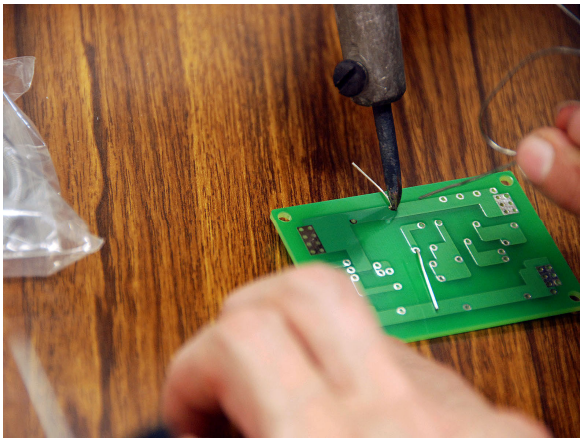

写真4

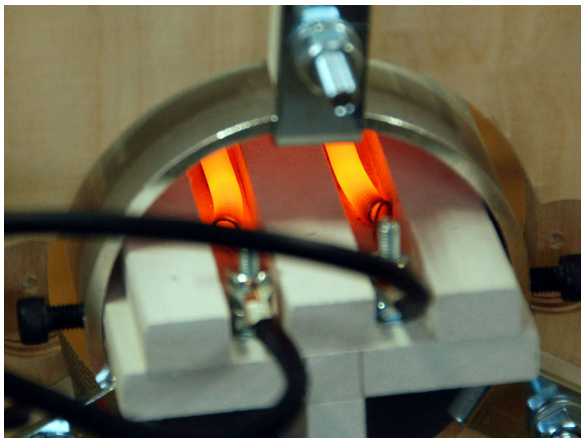

写真5

写真6